

令和6年度
世界農業遺産モニタリングツアー実施業務
報告書

令和6年11月7日（木）

公益社団法人 やまなし観光推進機構

○令和6年度世界農業遺産モニタリングツアー実施業務

1 実施概要

(1) 日時

令和6年11月7日(木) 1日

(2) 場所

山梨県山梨市、甲州市、笛吹市(峡東3市)

(3) 実施目的

峡東地域世界農業遺産推進協議会では、令和4年7月に山梨県山梨市、笛吹市、甲州市の3市に跨る「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」が世界農業遺産に認定されて以来、世界農業遺産の保全と活用に重点的に取り組むとともに、国内外に向けて峡東地域の魅力を発信している。様々な施策を展開するなかで、令和6年度事業として、世界農業遺産の認知度向上を図り、観光資源としての可能性を見出すことを目的として、旅行会社等を対象とした、「世界農業遺産モニタリングツアー」を実施することとした。

また、参加者にぶどうや桃の果樹栽培が織りなすこの地域特有の素晴らしい景観等を体感していただき、世界農業遺産をテーマとした旅行商品化の前段として、各素材を検証していただくことを目的としたものである。

(4) 企画

峡東地域世界農業遺産推進協議会
甲州市役所 観光商工課 企画・交流担当(事務局)

(5) 旅行企画・実施

公益社団法人 やまなし観光推進機構
(山梨県知事登録第2種旅行業登録268号 総合旅行業務取扱管理者:清水正則)

(6) 旅行会社等モニターの募集

令和5年度東京にて開催した山梨県観光商談会に参加した約50社の首都圏旅行会社及びメディアにメール配信、県内のメディアを含め15名の参加となった。また、終了後の情報発信を目的にインフルエンサーを手配した。

(7) 新宿から同行

峡東地域世界農業遺産推進協議会アドバイザー
甲州市役所 観光商工課 企画・交流担当(事務局)
公益社団法人 やまなし観光推進機構

(8) ツアー行程

以下及び別紙参照

【11月7日(木)】

- ・8:00 新宿駅出発
- ・10:00～国宝大善寺
- ・11:10～宮光園
- ・12:20～マルサマルシェ
- ・14:00～笛吹川フルーツ公園
- ・15:00～フルーツパーク富士屋ホテルにて意見交換
- ・16:50 JR 塩山駅

<p>8:00</p>	<p>新宿駅集合(バス乗車)出発 車中にて峡東地域世界農業遺産に関するDVD視聴 車中にて峡東地域世界農業遺産推進協議会アドバイザー 中村正樹氏による峡東地域世界農業遺産に関する説明 談合坂サービスエリア休憩</p>
<p>10:00~</p>	<p>国宝大善寺(視察) 住職による国宝の解説及び自由拝観 中村正樹氏による周辺景観説明</p>  <p>甲州ワインとシャインパスカットを賞味 県外参加者にとってなかなかシャインマスカットを食すことはない</p>
<p>11:00~</p>	<p>宮光園(視察) 館内資料とともにワイン醸造の歴史、貯蔵庫、醸造設備等々を視察 中村正樹氏による館内説明及びぶどう畑他説明 隣接したシャトーメルシャン視察、ワインギャラリーには、1杯からワインが楽しめる テイスティングカフェと、ワイナリー限定品もあるワインショップが併設。日本ワインの歴史を 体感できる「ワイン資料館」を視察</p> 

14:00～

笛吹川フルーツ公園(視察)

笛吹川フルーツ公園公園長兼施設管理リーダー山下氏より園内説明、施設規模、四季の景観、客層等々
甲府盆地や富士山を眺めることができる。
北九州市の「皿倉山」、奈良県の「若草山」と共に、笛吹川フルーツ公園の夜景は新日本三大夜景に選ばれている。



15:00～

フルーツパーク富士屋ホテルにて意見交換

場所:フルーツパーク富士屋ホテル2階「プリマヴェーラ」

進行:秦(やまなし観光推進機構)

出席者:モニタリングツアー参加旅行会社等:9者15名、インフルエンサー1名

甲州市役所2名、笛吹市役所2名、山梨市役所2名

峡東地域世界農業遺産推進協議会アドバイザー

内容:特にテーマを作らず、参加者全員から自己紹介を兼ね、参加の感想等を自由に語った。新入社員から中堅、ベテラン社員など参加者は多岐にわたり、様々な感想、意見があった

提供されたこの時期ならではの木枯らしぶどうと甲州ワインを堪能。木枯らしぶどうは「大変美味しい」と好評で残った木枯らしぶどうを分けて持ち帰った。

議事詳細:別紙



16:20～	フルーツパーク富士屋ホテル出発
17:17発	JR 塩山発 あずさ44号にて参加者帰路

- ・参加者名簿:別紙
- ・意見交換会議事メモ:別紙
- ・終了後参加者アンケート:別紙

世界農業遺産モニタリングツアー意見交換会議事

期 日：令和6年11月7日（木）15時～16時20分

場 所：フルーツパーク富士屋ホテル2階「プリマヴェーラ」

進 行：秦（やまなし観光推進機構）

出席者：モニタリングツアー参加旅行会社等：9者15名、インフルエンサー1名

甲州市役所2名、笛吹市役所2名、山梨市役所2名

峡東地域世界農業遺産推進協議会アドバイザー

内 容：特にテーマを作らず、参加者全員から自己紹介を兼ね、参加の感想等を自由に語った

主な意見、感想等

- ・インバウンド（アジア圏）の団体のレストランリストがあれば良い
- ・今回の参加で知らなかった箇所を訪問できた
- ・JNTO や観光庁の仕事をしているが、今後、世界農業遺産を薦めていく
- ・ワインエキスパートを取得しているが、ワインの歴史を知る事ができた
- ・今回のツアー参加で商品造成の幅を広げられると感じた
- ・世界農業遺産という言葉が難しいイメージだがいくつかの「映え」スポットがあった
- ・個人向けコンテンツとして商品化しているが、初めての箇所であった
- ・ワイン好きでワイナリーめぐりをしているが峡東地域は魅力的、先人の技術を学べた
- ・事前から楽しみにしていた、ツアー造成においてネタが尽きていたので良かったが、募集型で1バスの30～40名は厳しいと感じた。
- ・フルーツ狩りなど山梨のツアー造成は多く各箇所で添乗員向けのアナウンス原稿を考えた
- ・地方活性化地域再発見事業を担当、ぶどうも旅行も売るのが大変だと感じた、木枯らしぶどうは初耳、美味しい
- ・新入社員なので色々と学べた。大型団体より少人数のグループに提案できると感じた
- ・勤務歴は短い、ゆるキャン△ファンなので山梨を学べて良かった。観光と農業をうまく関連付けていきたい

各市の最近の観光のトピックス

- ・甲州市：大日影トンネル遊歩道がリニューアル、トンネル内の漏水や老朽化により、閉鎖されていましたが、大規模な修繕工事が行われ、リニューアル。歴史を感じさせる内装、全長約1,4km
- ・山梨市：女性醸造家の安藤さんがワイナリー「Cave an」を立ち上げ、山梨で初めて特区を取得。また「日本を世界の銘醸地に」するために奮闘する醸造家・安蔵光弘の半生を描いた映画「シグナチャー」を紹介
- ・笛吹市：石和温泉の高級旅館「かげつ」は8月に愛犬と泊まれる別邸をオープンした。笛吹市の世界農業遺産「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」を周遊するツアーを扱う旅行者に対し、一人1,000円補助金交付。

■世界農業遺産モニタリングツアー参加者アンケート 2024年11月07日実施

Q1	山梨市・笛吹市・甲州市で構成する峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システムが世界農業遺産に認定されたことをモニタリングツアーに参加する前から知っていましたか。		
	1 知っていた	2 名	
	2 知らなかった	12 名	
Q2	Q1で「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。どのような方法で知りましたか。（複数回答）		
	1 峡東地域世界農業遺産推進協議会のホームページ、Instagram	1 名	
	2 山梨市、笛吹市、甲州市のいずれかのホームページ	2 名	
	3 山梨県のホームページ	1 名	
	4 新聞・雑誌	1 名	
	5 チラシ・パンフレット	1 名	
	6 その他	1 名	
Q3	峡東地域世界農業遺産はどの年代が関心を持ってそうですか。（複数回答）		
	1 20代	2 名	・ワインの好きな方
	2 30代	3 名	・比較的年齢層の高めの方
	3 40代	4 名	
	4 50代	9 名	
	5 60代以上	7 名	
	6 その他	4 名	・自分自身も今まで知らなかったように、あまりピンとくる人は多くないと思います。若い方も世界農業遺産だと知ってからそれを見にいきたい、となるには少しまだ印象やインパクトに欠けるように感じます。現状だと、やはり分かりやすい「世界遺産」といった方に目が行きがちです。 ・特になし ・国内ターゲットにおいては、主にシニア層。50代～70代。男女グループ。夫婦海外ターゲットにおいては、日本リピーター富裕層30代～60代ぐらい。米豪欧州。 ・魅力が伝わる体験があれ

ば、全ての年代の方に関心
を持っていただけると思いま
す。

Q4	<p>峡東地域世界農業遺産の魅力についてお聞きします。 峡東地域世界農業遺産を訪れようか検討するにあたって重要視するものは何ですか。</p>		
Q4-①	<p>ぶどう棚が織りなす景色など、景観を楽しめる</p> <p>主目的になる 2 名</p> <p>目的のひとつになる 9 名</p> <p>目的にはあまりならない 2 名</p> <p>目的にはならない 名</p> <p>未記入 1 名</p>		
Q4-②	<p>おいしいワインが楽しめる</p> <p>主目的になる 9 名</p> <p>目的のひとつになる 5 名</p> <p>目的にはあまりならない 名</p> <p>目的にはならない 名</p> <p>未記入 名</p>		
Q4-③	<p>おいしい果物が楽しめる</p> <p>主目的になる 6 名</p> <p>目的のひとつになる 6 名</p> <p>目的にはあまりならない 2 名</p> <p>目的にはならない 名</p> <p>未記入 名</p>		
Q4-④	<p>自然・田舎を感じられる</p> <p>主目的になる 3 名</p> <p>目的のひとつになる 9 名</p> <p>目的にはあまりならない 2 名</p> <p>目的にはならない 名</p> <p>未記入 名</p>		
Q4-⑤	<p>地元の人とふれあえる</p> <p>主目的になる 名</p> <p>目的のひとつになる 6 名</p> <p>目的にはあまりならない 4 名</p> <p>目的にはならない 4 名</p> <p>未記入 名</p>		
Q4-⑥	<p>ぶどう狩り等ができる</p> <p>主目的になる 9 名</p> <p>目的のひとつになる 4 名</p> <p>目的にはあまりならない 名</p> <p>目的にはならない 名</p> <p>未記入 1 名</p>		

Q4-⑦	歴史に触れることができる							
	主目的になる	4	名					
	目的のひとつになる	10	名					
	目的にはあまりならない		名					
	目的にはならない		名					
	未記入		名					
Q4-⑧	寺社を訪れることができる							
	主目的になる	2	名					
	目的のひとつになる	10	名					
	目的にはあまりならない	2	名					
	目的にはならない		名					
	未記入		名					
Q4-⑨	おいしい食事ができる							
	主目的になる	6	名					
	目的のひとつになる	6	名					
	目的にはあまりならない	2	名					
	目的にはならない		名					
	未記入		名					
Q4-⑩	その他							
	主目的になる	1	名					・山歩き、山登りなど
	目的のひとつになる	1	名					・付加価値
	目的にはあまりならない		名					
	目的にはならない		名					
	未記入	12	名					
Q5	Q4の項目のなかでも特に重要だと思われる項目について、その理由や期待することなどを詳しく教えてください。(複数回答)							
	Q4-①		名					
	Q4-②	6	名					
	Q4-③	4	名					
	Q4-④		名					
	Q4-⑤		名					
	Q4-⑥	3	名					
	Q4-⑦		名					
	Q4-⑧		名					
	Q4-⑨	1	名					
Q4-⑩	1	名						
Q5理由②	美味しいワイン(お酒)がある地域は全国色々な場所がありますが、山梨県はぶどうの産地とワインの製造現場が同じ地域内にあることが魅力だと考えています。時期にもよりますが、ぶどうの収穫～ワイン製造～試飲まで一括で行える体験ができれば、より楽しそうだなと思いました。							

②	日本のワインは海外産と比べ注目が高くないので、PRの方法によっては「特別感」「ならでは感」「高級感」の演出ができると思います。試飲させていただき、世界に劣らない香り高さや風味を感じられとても美味しかったです。事前に日本のワインの歴史を知れたことも良かったです。
②	ワイン醸造の歴史等を学んだ上で美味しいワインをテイastingした方がより味わい深いものになると感じた。講座・現地ツアー・ワインづくり体験等、シリーズ化したりできたらいいと感じた。
②	趣味嗜好を追究すると自ずとターゲットが絞られ、販促のパフォーマンスを最大化できると思います。なんとなくワインが好き、という人にワインの奥深い部分を説明、体験していただくことによりリピートが期待できると思います。ワインを飲む＝運転ができない、乗り換えがおっくうになると思うので、バスツアーは有効な手段だと考えています。
②	国産ワイン生産地としての歴史と実績は他の地域の追随を許さず、差別化できるため。農業遺産のストーリーと直結している魅力であるため。物産品の購入や移動・宿泊・観光施設に対する消費とは切り離せないため、観光諸費のバランスが取れることが期待されるため。
②	峡東地域の目玉であるため。期待することは、峡東地域に足を運ばないと楽しむこと・体感ができることが出来ないようなワインがあったり、ワインの飲み方を教えていただける期会の創造など
②③⑩	国内でもワイン消費量上位の山梨県。老若男女問わすの消費をアピール。その原料である葡萄は景色を醸成し、狩りものとしての観光素材、飲み物としての消費素材、土産ものにもなるマルチコンテンツ。併せて、桃などの日本人に人気のある果物と併せて、「食」で訴求できる。さらに、美しい山並を有し、農業産業の景色としての側面と併せ、「健康」に着目し、ハイキングトレッキングなどのアクティビティと連動してアピールも可能。アクティビティ後の「温泉」とのパッケージも良いかも
③	峡東地域世界農業遺産を最もよく五感で感じることでできる部分であると感じたからです。ぶどう狩り等の体験を通してであれば幅広い年代に受け入れてもらえるようなツアーの造成にもつながると感じました。
③	その地域特有の味を楽しむことができるため
③⑥	農業遺産に認定ということで、果樹農業の伝統と技術を紹介し、自然や文化の魅力を活かして参加型で活性化できることを期待します。
⑥	おいしい果物(旬のフルーツ)を楽しむことはもちろん、体験要素が追加されることで価値が上がるため
⑥	生産者のお話や季節の果物を摘む体験は印象に残るため、重要だと思います。また果物狩りはリピートしていただけるお客様もいらっしゃるため、難しいことだとは思いますが、安定したおいしさに期待します。
⑨	ワイン、果物を含めて「食」の魅力を深掘りすることで「おいしい」だけでなく、プラスαの体験価値を提供できると感じています。提供される素材・料理のストーリーを旅行業者に理解してもらう事が出来れば大きな強みになると思います。
その他 農泊	今回見学することはできませんでしたが、ぶどうなどの収穫す農業体験と古民家に宿泊するという体験をセットで外国人観光客が「日本らしさ」と触れることに価値を感じてくるのではないかと思います。
Q6	峡東地域を訪れる際は、どんな交通手段がよいと思いますか。(複数回答)
	車 4 名
	バス 11 名
	電車 4 名
	その他 名

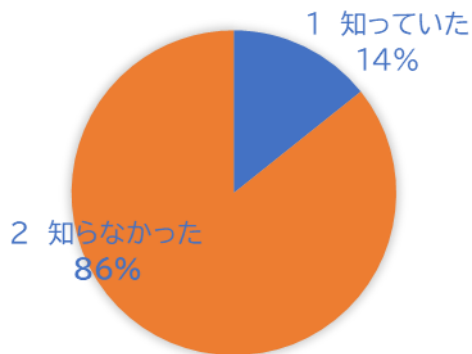
Q7	<p>峡東地域内を巡る際は、どんな交通手段がよいと思いますか。(複数回答)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">車</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">名</td> <td style="width: 20%;">・車がベストですがお酒が飲めなくなってしまうので。</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電車</td> <td></td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td>・レンタサイクル</td> </tr> </table>	車	6	名	・車がベストですがお酒が飲めなくなってしまうので。	バス	13	名		電車		名		その他	1	名	・レンタサイクル																
車	6	名	・車がベストですがお酒が飲めなくなってしまうので。																														
バス	13	名																															
電車		名																															
その他	1	名	・レンタサイクル																														
Q8	<p>ツアーを企画する際に、何が必要と考えられますか。(複数回答)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">体験 (農作業・ワイン作り・その他)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">13</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宿泊先 (温泉・農村民泊・ホテル・その他)</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食事処</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>買い物先</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>景色</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歴史</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ストーリーなどの深い部分</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td>・交通・訪問先や参加者同士の交流</td> </tr> </table>	体験 (農作業・ワイン作り・その他)	13	名		宿泊先 (温泉・農村民泊・ホテル・その他)	7	名		食事処	7	名		買い物先	3	名		景色	7	名		歴史	7	名		ストーリーなどの深い部分				その他	2	名	・交通・訪問先や参加者同士の交流
体験 (農作業・ワイン作り・その他)	13	名																															
宿泊先 (温泉・農村民泊・ホテル・その他)	7	名																															
食事処	7	名																															
買い物先	3	名																															
景色	7	名																															
歴史	7	名																															
ストーリーなどの深い部分																																	
その他	2	名	・交通・訪問先や参加者同士の交流																														
Q9	<p>峡東地域世界農業遺産をツアーとして企画する場合、どの程度の魅力になりそうですか。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">非常に魅力的になる</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>魅力的になる</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>あまりならない</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ならない</td> <td></td> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> </tr> </table>	非常に魅力的になる	1	名		魅力的になる	10	名		あまりならない	3	名		ならない		名																	
非常に魅力的になる	1	名																															
魅力的になる	10	名																															
あまりならない	3	名																															
ならない		名																															
Q10	<p>Q9の質問を選択した理由をお教えてください。</p> <p>【非常に魅力的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q8で回答した素材は全て峡東地区世界農業遺産を企画としてできるため。 <p>【魅力的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただの農業だけでなく、ワインを組み合わせた提案なら魅力的になると考えたため ・すでに訪問されたお客様にも世界遺産の意義を知ってもらうことで体験価値は上がる ・農業遺産というワード自体が珍しく感じ興味深いから。ワインやフルーツなど美味しいものが沢山あるのでそれを活かせる ・ストーリー性があった方がよいと感じたため ・自然・食・文化・日本ワインの歴史などの紹介ができる、縄文時代の文化に触れることができの魅力的のポイント ・メインとなる観光資源が必要かなと感じました。ぶどう狩りや桜や梅などの観賞スポットと組み合わせることで強いツアーになると考えました。 ・日本では15地域しか設定されていないので、貴重な地域(体験)として魅力的ですが、ツアー化するには、受け入れ態勢が万全になっていない気がしました。 ・地域の特性を生かした体験ができるため ・「世界農業遺産」の散財自体をPRでき、さらに首都圏から一番近く、気軽にいける世界農業遺産のため 																																

	<ul style="list-style-type: none"> ・現在すでに果物狩りツアーとして人気の地域なので「世界農業遺産として」となると、そこまでのアピールは難しい気がします。 <p>【あまりならない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力になるポテンシャルはあるが、具体的なコンテンツを何にするか、何をキーワードに企画に企画するかで印象を大きく左右するため ・全くならないというわけではないのですが、浸透するには少しインパクトにかけるように感じました。 ・現状では、峡東地域でなければ食べれない、体感ができないコンテンツが少ないため
<p>Q11</p>	<p>Q9で3か4を選択した方にお聞きします。 どのようにすればより魅力的になると考えられますか。不足している部分など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心から来る人、インバウンドのためにもバスツアーが一番良いと思います。今回のモニターツアーは歩く距離が長かったので、短縮したり、バス社内や食事に高級感を取り入れるとより良いとおもいました。 ・「農業遺産」の内容を明確化させる。アイコンになるビジュアルや「日本独自のぶどう棚が広がる」景観など、具体的なキーワードが必要 ・SNSなどの媒体を上手に活用し、より多くの人目に留まるようにアピールする必要があると思います。 ・峡東地域でなければ食べれない、体感ができないコンテンツの想像
<p>Q12</p>	<p>峡東地域の観光における強みは何か感じられましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地とワインの製造現場が近いこと、都内からアクセスがいいこと ・景色の良さ。食事(ほうとう)のおいしさ。 ・素晴らしい景観と歴史、美味しいワイン等魅力ある観光地なのに、首都圏からは個人で行きやすいため、なかなかツアーとして魅力がアピールできなかったと感じた。 ・シーズンにもよりますが、ぶどう狩りや農業体験などの強みは感じられました。 ・ぶどうを中心としたストーリー性だと感じました。シャインマスカット狩りや、フルーツプレゼント・ワインの試飲などをもとに大善寺など歴史と組み合わせられる点 ・フルーツ、ワイン、景観 ・そこにしかない地理景観の美しさ、鉄道アクセスの良さ。 ・外国人観光客にとって「富士山イコール河口湖」と定着しているところを分散化させるために、富士山がきれいに見えるということももっと強くアピールしても良いと思います。また、撮影地やモデルになった場所なども、ファンが訪れて同じ場所で写真を撮りたくなるような仕掛けがあったら、そこからさらにファンが世界に魅力を発信してくれるので、あまり周知されていないのは少し勿体ないように感じました。 ・豊富な果物資源 ・歴史や食事など多方面で発見を得られる ・首都圏から近い。特急あり。高速バスもあり。晴天率が全国で1位。現地に着いてからの足の問題はあります。 ・長期間にわたり果物狩りを楽しめること ・強みは果物狩りやワイナリーの見学、果物の加工品など通年楽しむことができることです。

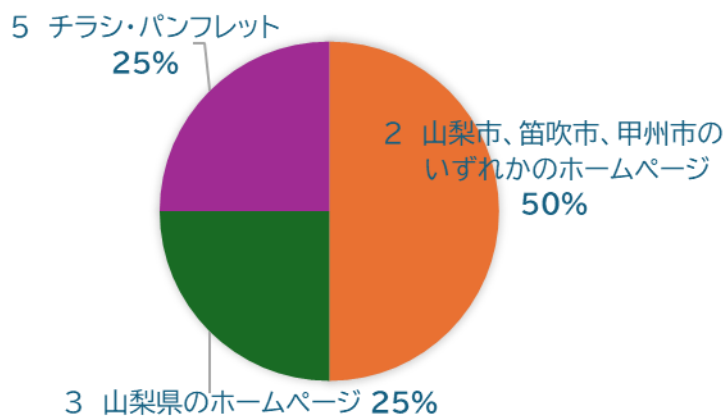
Q13	<p>もっと峡東地域世界農業遺産について知る機会があったら参加してみたいですか。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・体験コンテンツに興味あり。解説いただけるガイドの育成に期待 ・是非お願いいたします。(参加してみたいです)5名 ・農業遺産もですが、新たな切り口で造成ができ、峡東地域の打ち出しがありましたら参加したい。 ・また期会が御座いましたら今度は別の時期に訪ねてみたいと思っております、 ・今回のことをきっかけに色々と勉強させて頂いたので一度で十分です。 ・参加してみたい。地元の関係者や行政担当者との懇親・商談の時間がもっと欲しい。 ・ワインが飲めない、歴史にあまり興味がないため、年を重ねたら知りたくなるかもしれない ・効果価値インバウンド向き、シニアアクティブグループ向きのモデルコースを作成し、実際に行動してみて、その中で課題など分析したらよいかと思う。 ・是非参加させていただきたいです。峡東地域の果樹農家システムを学び、以前視察で峡東地域を訪れたときは目に入らなかった景色を見ることができ、新たな知識を得ることができました。またの機会がございましたら嬉しい限りです。

■世界農業遺産モニタリングツアー参加者アンケート ～資料～

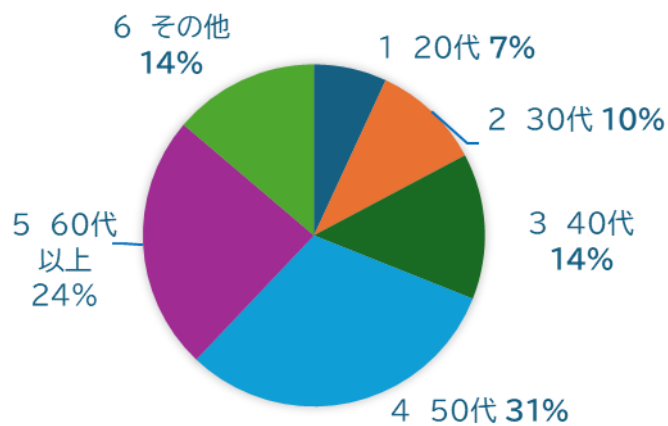
Q1
山梨市・笛吹市・甲州市で構成する峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システムが世界農業遺産に認定されたことをモニタリングツアーに参加する前から知っていましたか



Q2
Q1 で「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。どのような方法で知りましたか。(複数回答)



Q3
峡東地域世界農業遺産はどの年代が関心を持てそうですか。(複数回答)



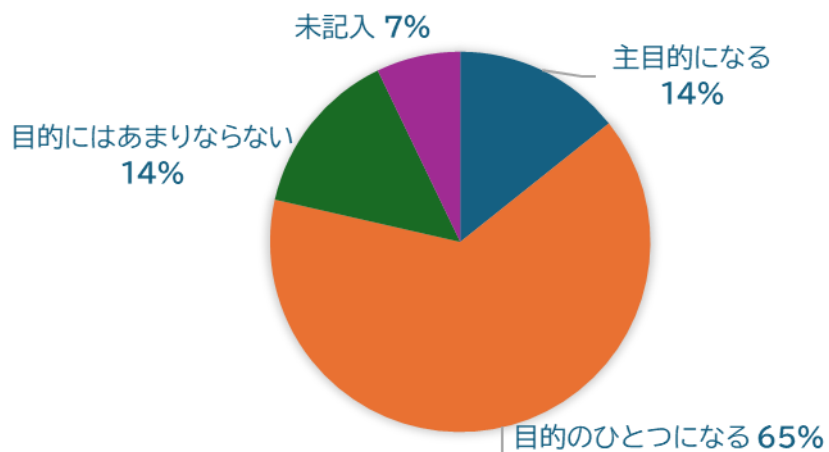
Q4

峡東地域世界農業遺産の魅力についてお聞きします。

峡東地域世界農業遺産を訪れようか検討するにあたって重要視するものは何ですか。

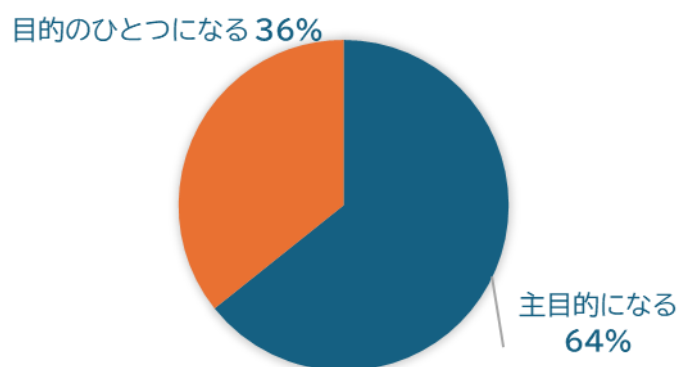
”Q4-1

ぶどう棚が織りなす景色など、景観を楽しめる



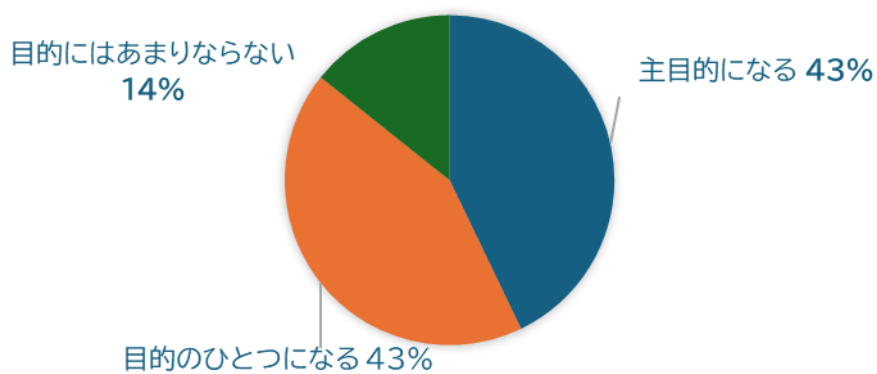
Q4-2

おいしいワインが楽しめる”



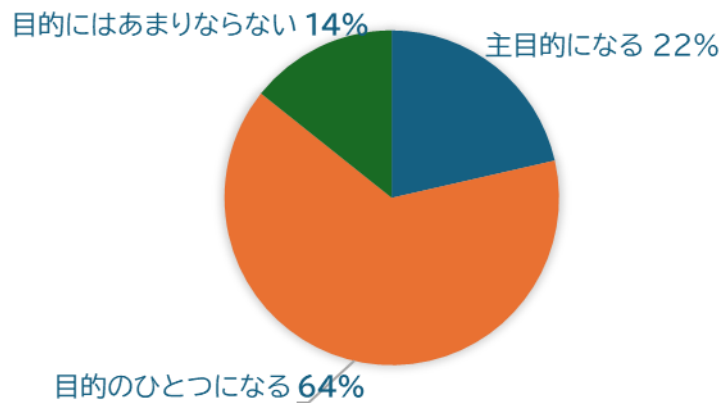
Q4-3

おいしい果物が楽しめる



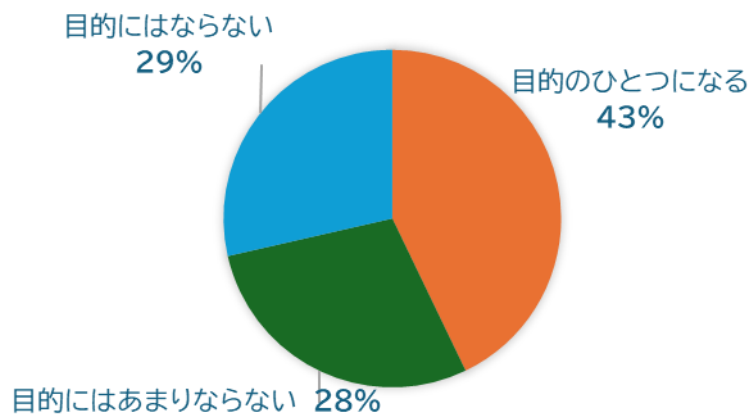
Q4-4

自然・田舎を感じられる



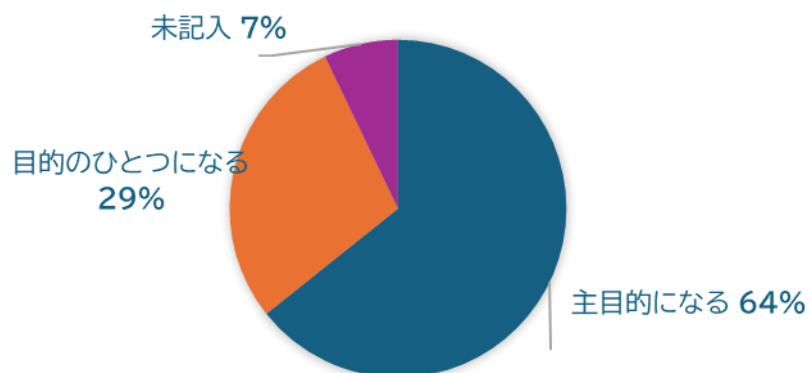
Q4-5

地元の人とふれあえる



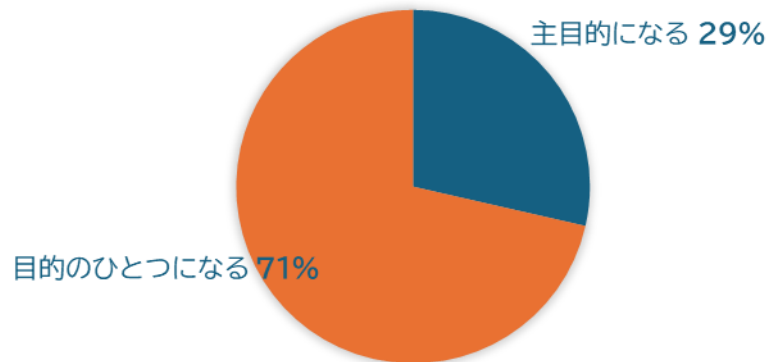
Q4-6

ぶどう狩り等ができる



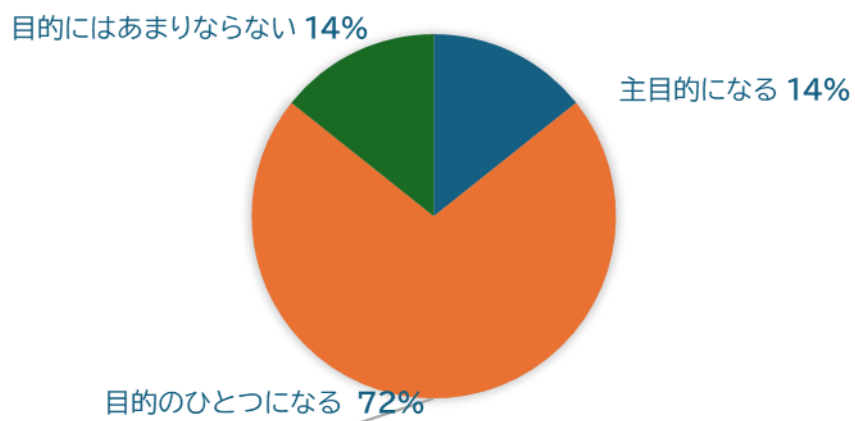
Q4-7

歴史に触れることができる



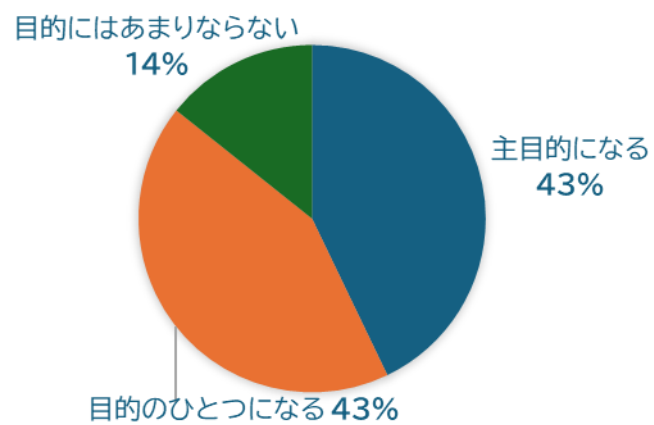
Q4-8

寺社を訪れることができる”

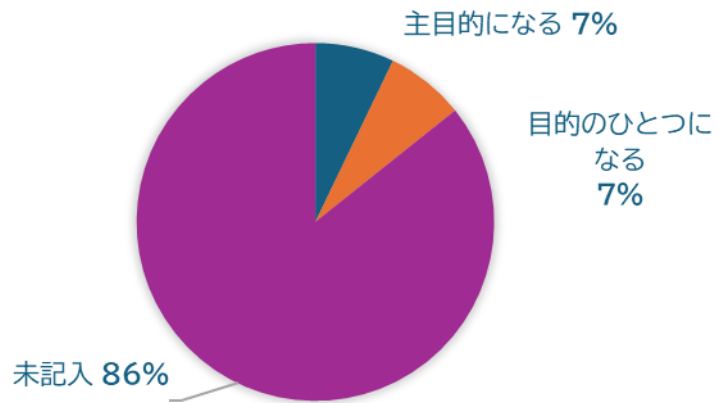


Q4-9

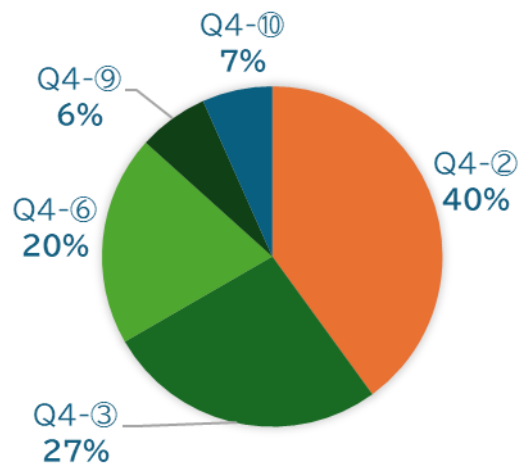
おいしい食事ができる



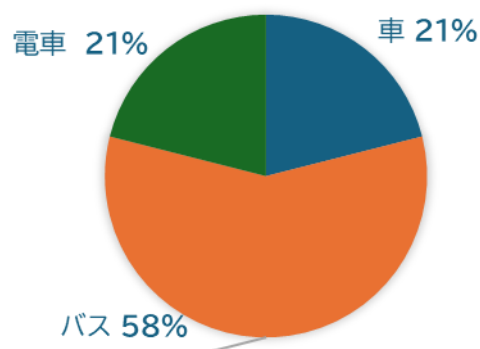
Q4-10
その他



Q5
Q4 の項目のなかでも特に重要だと思われる項目について、その理由や期待すること

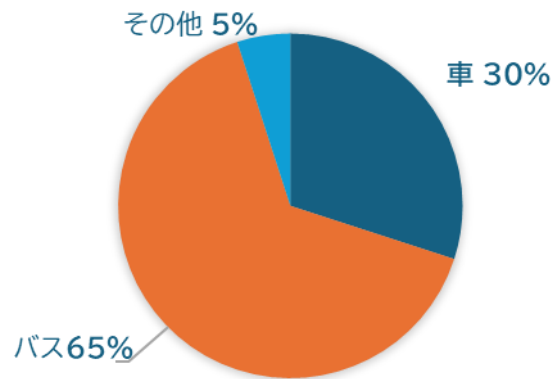


Q6
峡東地域を訪れる際は、どんな交通手段がよいと思いますか。(複数回答)



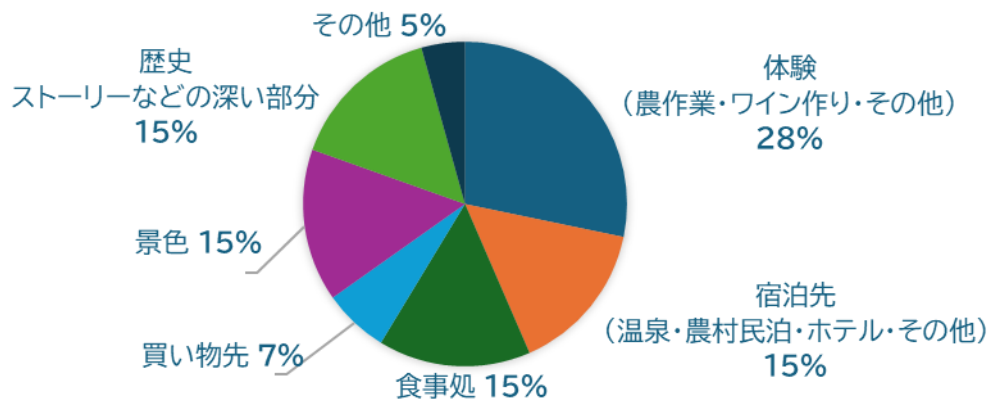
Q7

峡東地域内を巡る際は、どんな交通手段がよいと思いますか。(複数回答)



Q8

ツアーを企画する際に、何が必要と考えられますか。(複数回答)



Q9

峡東地域世界農業遺産をツアーとして企画する場合、どの程度の魅力になりそうですか。

